科目番号	53024	分類	専門科目 応用看護学領域	履修者	看護科学コース （看護管理者プログラム）	学年
科目名	放射線保健学特論Ⅱ （ Advanced Course in Radiological Health Sciences 2 ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期

担当者	○明石　眞言	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 原子力・放射線事故への対応ならびに汚染地域での放射線リスク・マネジメントについて学ぶ。とくに、大規模事故後の汚染地域の住民に対する支援のあり方について考察する。 【目標】 1. 平常時と事故時の被ばく管理の違いを理解する。 2. 汚染地域の住民支援における専門家の役割について理解を深める。	○	1. 看護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力
	○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力
		4. ヒト・モノ・カネ・情報等のシステム的管理能力の向上
		5. 病院管理者の一員として管理能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回 第2,３回 第4,５回 第 6～15回	原子力・放射線事故と防災措置 事故時の被ばく管理 緊急被ばく医療 汚染地域における放射線リスク・マネジメント （ICRP Publication 111 の輪読講義）	明石
事前・事後学習	事前学習として 2011 年に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故の概要を理解しておく。 事後学習として原子力放射線事故に関する防災・減災における看護職の役割を考慮し、修得したスキルを継続できる努力をする。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。	
評価の方法	授業への出席状況および輪読の資料・プレゼンテーションにより評価する。 フィードバックは適宜行う。	
参考図書・資料等	ICRP Publication 111,（原子力事故または放射線緊急事態後の長期汚染地域に居住する人々の防護に関する委員会勧告の適用）. 日本アイソトープ協会. ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。	
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。	